



各 位

2019年10月31日

会社名 大陽日酸株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 市原 裕史郎
(コード番号 4091 東証第一部)
問合せ先 広報・IR部長 梅原 崇禎
(TEL 03 - 5788 - 8015)

剰余金の配当（中間配当）及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年10月31日開催の取締役会において、以下のとおり、2019年9月30日を基準日とする剰余金の配当（中間配当）につき決議いたしました。また、2020年3月期の期末配当予想について、下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 配当の内容（中間配当）

	決 定 額	直近の配当予想 (2019年5月13日発表)	前期実績 (2019年3月期中間配当)
基 準 日	2019年9月30日	同左	2018年9月30日
1 株 当 たり 配 当 金	14円	13円	12円
配 当 金 の 総 額	6,060百万円	—	5,194百万円
効 力 発 生 日	2019年12月2日	—	2018年12月3日
配 当 原 資	利益剰余金	—	利益剰余金

2. 配当予想の修正の内容（期末配当）

基 準 日	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前 回 予 想	13円	13円	26円
今 回 修 正 予 想	—	14円	28円
当 期 実 績	14円	—	—
前期実績 (2019年3月期)	12円	13円	25円

3. 理由

当社は、企業体質の充実・強化に向けた内部留保に意を用いつつ、安定的な配当の継続を基本に、連結業績との連動を考慮した配当政策により、株主の皆様への還元に努めていきたいと考えております。

当期における事業環境は、米中貿易摩擦による経済の減速などにより不透明感が増しています。そうした中、当社グループにおいては、前期に買収した欧州及び米国の事業が想定どおりに寄与し、当第2四半期連結累計期間の連結業績はほぼ当初予想どおりで、前年同期に比べ大幅な増収増益となりました。

このような状況を勘案し、当期の中間配当金を1株当たり14円、期末配当予想を1株当たり14円、年間配当予想を1株当たり28円といたします。

以 上